

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名： 広島県 三次市立みらさか小学校

活動名：

主タイトル (主体的に学ぶ児童の育成)

副タイトル (教職員全体で進めるカリ・マネ)

解決すべき課題： 主体的に学ぶ児童を育成するためには、児童の実態を把握したうえで、各教科等と学校行事等を関連させ横断的で系統的な指導を行うカリキュラム・マネジメント (以下「カリ・マネ」) の視点が効果的であり、指導者にとっても年間を見通した指導が行える。しかし、教職員の中には「新たな取組みだ」と捉えて負担感を抱くことや、児童に付けたい力をつけるための効果的な指導につながりにくいなどの課題がある。

目標・方針： カリ・マネを生かした指導を教職員がベクトルを揃えて行うことで、主体的に学ぶ児童生徒の育成を図ることを目指す。そのために、カリ・マネの理論を理解する機会と教職員のキャリアの違いを活かしたグループワークや実践交流によって、具体的に授業を構想する機会を設定する。

活動内容：

①理論を共有～カリ・マネは新しい?～

夏休みの全体研修で、カリ・マネについて理論を確認した (図 1)。また、カリ・マネの視点で年間指導計画をつなぎながら授業についての考えを出し合い、今後の学習の広がりや深まりを各学年で検討した (写真 1)。その際、全職員を対象として小グループを意図的に構成し、指導の経験や各教科の特質を活かした様々な視点から指導の案が出るように工夫した。また、学習内容のつながりだけでなく、児童に付けたい「資質・能力」の観点で単元をつなぐことで、より多面的・多角的な考えが生まれるようにした。

②研修したことの実践化

学習指導案において、カリ・マネの視点を取り入れた表を記し、指導のつながりを全体で共有できるようにした (図 2)。また、本校で継続して取り組んでいる道徳科と行事をつなぐ「レインボープログラム」とも連動させ、これまでの取組みの価値も再確認しながら実践を重ねた (写真 2・写真 3)。

③実践を語り合う～Mirasaka Café～ (写真 4)

年度末の研修では、小中合同で自分の実践や児童生徒の変容などを話す場を設定した。気軽に交流するカフェテリアのような雰囲気を大切に、指導の成果や課題を共有した。その際、他の教職員の実践から、自分の実践に生かしたいことや指導の引き出しを増やすという視点で交流することで、より具体的に授業を構想できる機会とした。

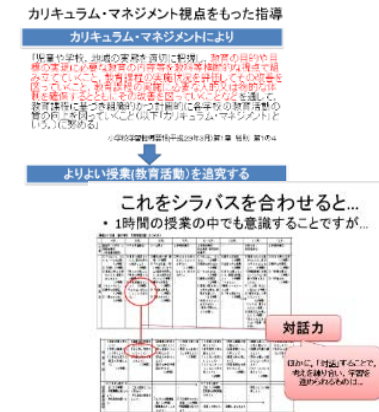
活動の成果： 成果は、教職員同士の意識の共有化が図れたことである。(グラフ 1) から教職員の意識の向上が見られる。若手の教員にとっては指導の幅を広げる手段として、中堅以上の教員には、カリ・マネを捉え直し、資質・能力の育成に視点を置いた単元づくりを一層進める点でも有効だった。また、児童に付けたい力を共有し、同じ方向で指導を進めることができた。それは、本校で目指す資質・能力の一つである「課題解決力」の育成に係わる児童意識アンケート「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から問題に取り組んでいたと思う。」が、85.7%から 92.9%へと向上していることにも表れている (グラフ 2)。

アピールポイント (アイデアや工夫)：

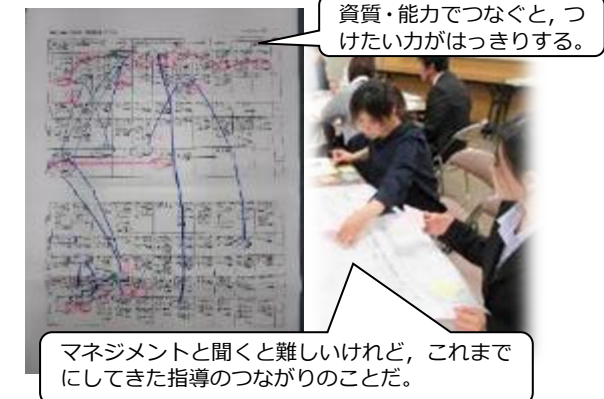
- キャリアの違うメンバーでグループを構成し、様々な視点からカリ・マネの広がりや深まりを検討した。
- 本校での取組みを整理し、育成する「資質・能力」と照らし合わせ、全教職員で共有した。
- 施設一体型小中一貫校の良さを生かし、小中の教職員が互いの実践を交流し合う機会を設定した。

Plan

(図 1) : 教職員全体でカリキュラム・マネジメントの意義を確認する研修の実施



(写真 1) : グループに分かれてカリキュラムを検討している様子



Do

(図 2) : カリキュラム・マネジメントを明記した学習指導案

教科	1学期	2学期	3学期
国語科	「たのしい国語」	「やさしい国語」	「国語の楽しさ」
算数科	「たのしい算数」	「やさしい算数」	「算数の楽しさ」
理科	「たのしい理科」	「やさしい理科」	「理科の楽しさ」
道徳科	「たのしい道徳」	「やさしい道徳」	「道徳の楽しさ」
総合学習	「たのしい総合」	「やさしい総合」	「総合の楽しさ」
体育	「たのしい体育」	「やさしい体育」	「体育の楽しさ」
音楽	「たのしい音楽」	「やさしい音楽」	「音楽の楽しさ」
美術	「たのしい美術」	「やさしい美術」	「美術の楽しさ」
外国語活動	「たのしい外国語」	「やさしい外国語」	「外国語の楽しさ」
英語	「たのしい英語」	「やさしい英語」	「英語の楽しさ」

(写真 2) 「レインボープログラム」の掲示



(写真 3) 児童の学習発表会の様子



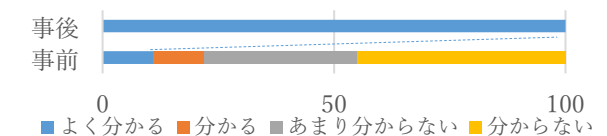
道徳科【よりよい学校生活】での学習を生かし、仲間と共に練習を重ね、学習発表会で伝統文化の発表を行う。発表後に、道徳科で【伝統文化の尊重】を実施。児童は自身が経験したことも含め、地域の伝統を守る方々への思いを一層深めていた。

Check

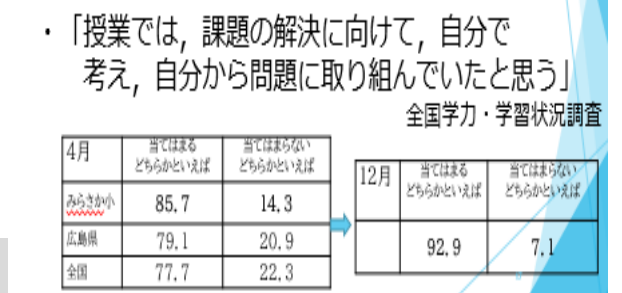
(写真 4) : 小中合同で実践交流をしている様子



(グラフ 1) : 教職員による「カリキュラム・マネジメントの進め方についての理解度」の結果



(グラフ 2) : 児童アンケートの結果



Action

- 来年度に向けた研修の在り方を全員で検討
- カリキュラム・マネジメントを生かした授業づくりの継続